

第1回平和島駅周辺地区ランドデザイン専門委員会議事要旨

日時：令和6(2024)年5月22日(水)9:30~11:00

場所：大田区役所本庁舎5階特別会議室

委員：二井 昭佳 国土舘大学理工学部まちづくり学系 教授

佐瀬 優子 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科 教育技術嘱託

齋藤 浩一 企画経営部長

池田 中 鉄道・都市づくり部長

遠藤 彰 都市基盤整備部長

1 開会

2 部会の概要 事務局より資料1を基に説明

3 委員挨拶

4 部会長選出 国土舘大学二井教授が委員長に選任された。

5 将来像・基本方針・取組の検討について 事務局より資料2を基に説明

議題1 グランドデザインについて

(委員) 具体的にGDについてどこまで書くのか。地域の方が将来的の平和島がどのようになるのか期待を持てるものが望ましい。今後イラスト等を交えて具体的にまとめるのが良い。

(委員) 具体的に何年後を見据えてのGD策定になるのか。

(事務局) 20年後の2040年頃を見据えている。

(委員) 平和島の西側は住宅街、東側は観光資源に溢れ、来街者が多いといった二面性がある。

議事2 まちの将来像について

(委員) 平和島を将来的にこういうまちにするといったキーワードが入っていない。海、歴史といったキーワードは入れたほうが良い。

(委員) 水辺よりも海というワードを入れたほうが良い。

(委員) 現在の将来像は平和島でなくとも言える。終わりは〇〇な平和島、〇〇なまちといった形で締めくくるのが良い。

議事3 基本方針と将来像実現に向けた取組について

(委員) 生活面の視点が少ない。拠点としての位置づけが必要である。

(委員) 老朽化している公園が多い。今後公園全体の将来像を決めるプランを作る予定である。

- (委員) 回遊性について、イメージとしては歩きやすい道で、重要な拠点をつないでいく。
- (委員) 初めて訪れた人はわかりにくい。わかりやすいネットワークの構築が必要である。
- (委員) 区外、区内からのモビリティの区別も必要である。
- (委員) にぎわいの創出について、美原通りは重要な場として認識している。老朽化しており、景観整備は必要である。
- (委員) 道路の舗装だけでなく、沿道の整備も含めて景観整備にあたる。美原通りは商店と住宅が入り混じっているため、店舗の連続性は必要である。
- (委員) 観光資源のアクセスについて、徒歩では行きづらい。自転車で回れるよう自転車走行環境の整備が必要である。

6 スケジュールについて 事務局より資料3を基に説明